

No. 1279 (二〇一九年一月一日号) から

No. 1302 (二〇一九年二月一五号) まで

No. 1279 (二〇一九年一月一日号)

◇巻頭言◇ 2018年の政治・経済の腐敗を忘れない

森 勉

原子力マフィアの企み

原 野人

― 逆走する日米の独占資本と政権 ―

国労組合員で本当に良かった

蓑輪 泰臣

― 鉄道人生44年間を振り返って ―

山下 俊幸

「人手不足」問題を考える

― 資本主義における失業の不可避性と外国人労働者の受け入れ拡大 ―

読者からのおたより

No. 1280 (二〇一九年一月一五号)

◇巻頭言◇ 一人ひとりが学習会つくろうよ

滝野 忠

謹賀新年

山下 俊幸

「労働・社会科学学習会」の開催、『通信』での発信を続けます

日本労働運動の大転換

― 連合 19春闘構想について ― (一)

ベーシックインカムは新特效薬か？

原 野人

― 反自民、反独占の勢力を結集するために ―

変形労働時間制の導入を阻止

伊藤 光隆

― 変形労働時間制は長時間労働を助長する ―

消費がふえない本当のわけ

伊勢 太郎

― 要求し、闘わなければ賃金は上がらない ―

読者からのおたより

No. 1281 (二〇一九年二月一日号)

◇巻頭言◇ 安倍政治を阻止したい

渋谷 澄夫

加藤晋介弁護士の解釈改憲

佐々木 一雄

― 「社会権」をめぐるその奇抜な新説とベーシックインカム ―

成長戦略の柱は崩壊

原 野人

― 悪孫の夢を破れる日は近い？ ―

生産性賃金論への転換

滝野 忠

― 連合19春闘方針を論ず (二) ―

自国の軍隊が自国民に銃口を向ける！

稲村 守

― 12・8自衛隊の実弾演習に反対するあいは野集会 ―

読者からのおたより

No.1282 (二〇一九年二月一五日号)

◇巻頭言◇ 「ポピュリズム」とは大衆の反乱なり
春闘の変質

伊勢 太郎

滝野 忠

―連合 19春闘構想について(二)―
―ベリックインカム、普遍主義、「共生・共助」

佐々木 一雄

―資本主義への責任追及を忘れた中期政策補強関連案―
読者からのおたより

No.1283 (二〇一九年三月一日号)

◇巻頭言◇ 「祖国か死か」

伊勢 太郎

ベネズエラ「革命政権」

あれから9年目を迎えて

日本の労働者階級の状態

山下 俊幸

―長時間労働と「うつ病」、過労死・過労自殺問題を考える(一)―

「脱官製」春闘は本当か

滝野 忠

―連合 19春闘構想について(三)―

国労上野反合研

おかしいことは「おかしい」と、
言える労働組合が必要だ

読者からのおたより

No.1284 (二〇一九年三月一五日号)

◇巻頭言◇ 「資本家の人権」について

原 野人

―新社会党第24回大会を傍聴して

四つの国と地域の大競争―

伊勢 太郎

―情勢の特徴について(一)―

日本労働者階級の状態

山下 俊幸

―長時間労働と「うつ病」、過労死・過労自殺問題を考える(二)―

読者からのおたより

No.1285 (二〇一九年四月一日号)

◇巻頭言◇ 原発をなくし平和な日本をまもる

國分 富夫

3・11メッセージ

連帯ユニオン関生支部弾圧を弾劾する

稲村 守

―3・10 集会決議―

市民と野党の統一候補

佐野 周二

―石川ともひろ北海道知事実現を―

所得制限と普遍主義について

原 野人

教師の過重労働

山下 俊幸

―日本労働者階級の状態(三)―

不均等発展は一つの法則

伊勢 太郎

―情勢の特徴について(二)―

読者からのおたより

No.1286 (二〇一九年四月一五日号)

◇巻頭言◇ 「令和」 支配階級と改元消費税値上げとポイント還元

― 零細小事業経営者の戸惑い―

新社会党第24回大会に思うこと

よく頑張った、しかし苦戦でもあった

― 36代表選挙―

不当労働行為と労働組合 なぜ労働組合か

発展が緩慢なEUそして日本

― 情勢の特徴について(三)―

読者からのおたより

滝野 忠
山下 俊幸

新潟 太郎
国労上野反合研

本村 充
伊勢 太郎

No.1287 (二〇一九年五月一日号)

◇巻頭言◇ 稲妻が走り 雷(いかずち)が落ちた3つの戦争

― 情勢の特徴について(四)―

連合運動の現状と矛盾

― 労戦再編30年(一)―

民主主義を取り戻す年にしよう

― 武庫川ユニオン30周年と未来―

残念な協会の変質と混乱

読者からのおたより

小西 純一郎

原 野人

No.1288 (二〇一九年五月一五日号)

◇巻頭言◇ 映画「三池の闘いと『向坂教室』」上映会

― 皆さんのご来場をお待ちしています―

「三池と安保闘争」から60周年

ベネズエラ情勢について

『日本を支える電力システムを再構築する』について

― 経団連の提言は温暖化対策の名のもとに何を狙うか―

「階級」としての労働者と労働組合と労働法

読者からのおたより

山下 俊幸

滝野 忠

原 野人

本村 充

No.1289 (二〇一九年六月一日号)

◇巻頭言◇ 現代日本の思想と背景

我が町新得町と「なつぞら」

― NHK連続テレビ小説裏話―

千葉さんと田原さんの勘違い

― 搾取と被搾取の中に生きていることを忘れてはいけない―

読者からのおたより

原 野人

滝野 忠
佐野 周二

No. 1290 (二〇一九年六月一五日号)

◇巻頭言◇ レーニン『カール・マルクス』を読む

―唯物史観からの現状分析―

資本主義社会の社会保障とその原則は

三池の学習と組織づくりは「宝物」

―「三池のたたかいと『向坂教室』」の上映会を終えて―

老朽原発停止の闘いは勝利できる！

―5・19 関電包囲全国集会に750人―

今村さんに何を期待するか

―協会のどこが問題か直視しよう―

読者からのおたより

滝野 忠

塚本 鉄男

山下 俊幸

稲村 守

原 野人

No. 1291 (二〇一九年七月一日号)

◇巻頭言◇ 史的唯物論と「社会学」

イデオロギーについて

どこへ私を連れて行こうとしているのか

―結党の精神を忘れるな―

悲惨な事件を無くするため

―マルクスと向坂から学ぶ―

「業務改革・生産性向上」は搾取の強化

―小島恒久著「経済学入門」の学習会を終えて―

今次関生弾圧の経過と本質と滋賀の警察について

読者からのおたより

蓑輪 泰臣

原 野人

国労上野反合研

稲村 守

No. 1292 (二〇一九年七月一五日号)

◇巻頭言◇ 参院選挙で安倍自公政権に NOを！

没階級的な普遍主義と中期政策

―二つの規定の削除は必要不可欠―

「底上げ」ならず「規模間格差」も拡大

―19春闘を総括する―

「デフレ」だからだらした恐慌はつづく

―日本情勢の特徴について―

活字メディアと現代

読者からのおたより

伊勢 太郎

滝野 忠

原 野人

森 勉

No.1293 (二〇一九年八月一日号)

◇巻頭言◇ 参院選とエンゲルス

ILO(国際労働機関)創立100年に寄せて

日・朝・韓の根本問題

日本の労働法―過去そして現在

―「階級」としての労働者と労働組合と労働法②―

資本主義社会における階級対立

読者からのおたより

滝野 忠

山下 俊幸

原野 人

本村 充

山下 俊幸

No.1294 (二〇一九年八月一五号)

◇巻頭言◇ 福島第二原発の廃炉について

◇元原子力資料情報室スタッフ 澤井正子さん講演から◇

どうする？ 危険な原発のゴミ

―日本そしてフィンランド―

搾取と収奪めぐり

―森勉さんと中澤秀行さんの対話(二)―

資本主義社会では労働者と資本の利害は相反している

―小島恒久著『経済学入門』紹介―

「搾取」と「収奪」そして国家

「なつぞら」、松浦武四郎、アイヌ民族

―NHK連続テレビ小説「なつぞら」裏話2―

読者からのおたより

編集部だより

さよなら原発！ 新得会

原野 人

編集部

森 勉

中澤 秀行

佐野 周二

No.1295 (二〇一九年九月一日号)

◇巻頭言◇ 安倍政治の背景

参院選結果について

私たちの学習会 『国家論』に突入だ！

―森勉さんと中澤秀行さんの対話(二)―

私たちの学習会

―「国家」とはなにか―

「国家論」を勉強するために

資本主義社会における「政策」とは

オリンピックと輸送網

読者からのおたより

滝野 忠

森 勉

中澤 秀行

山下 俊幸

No. 1296 (二〇一九年九月一五日号)

◇巻頭言◇ 参院選総括について (二)

恥知らずな日本独占資本と安倍政権

避難者訴訟、仙台高裁第6回尋問

原発事故被害者『相双の会』

―「復興」の実態と、つるる被害者の苦悩―

学習会が始まった！「国家について」(レーニン講演録)

―第1回学習会レジュメと5つの社会―

上野反合研「国家について」の第1回学習会

中澤 秀行

5つの社会と奴隸制

森 勉

読者からのおたより

No. 1297 (二〇一九年十月一日号)

◇巻頭言◇ 泥棒は家の中に、敵は国の中にいる

護憲闘争の意義

原 野人

国家とはなにか

滝野 忠

―森勉さんと中澤さんの対話(四)―

レーニン全集第29巻「国家について」

森 勉

―学習会レジュメ 第2・3回―

学習の参考にして下さい

中澤 秀行

福山市教育委員会会議 傍聴の感想

西本 章

読者からのおたより

No. 1298 (二〇一九年十月一五日号)

◇巻頭言◇ 東電裁判と河野防衛相

原 野人

秋の200キロリレーデモへの決意も交流

稲村 守

―大飯原発再々稼働現地反対闘争―

国家とはなにか

―森勉さんと中澤さんの対話(五)―

階級社会と国家(三回目の学習会)

森 勉

国家とは何か―『起源』と『憲法学』

中澤 秀行

―学習の参考にして下さい(二)―

国家論と唯物史観

滝野 忠

―「国家について」―

鉄路 切り捨て、廃止は認めない

佐野 周二

―道知事への質問、回答、コメント―

読者からのおたより

No. 1299 (二〇一九年十一月一日号)

◇巻頭言◇ しっかり原点に立って、原発廃止を主張しましょう

相沢 一正

関電不正と原子力マフィア

原 野人

関電と原発マネーの癒着を許すな!

― 高浜原発と高浜町役場に抗議と申し入れ―

被害者ぶる関西電力を許さない

― 関電会長ら7人辞任! 野瀬高浜町長は再稼働同意見直しへ!―

牛と掃除されたお墓と無残な窯元跡

國分 富夫

― 浪江町帰還困難区域―

数十万被害者は絶対に許さない

― 9・19 東電経営者「業務上過失致死罪」無罪―

関生支部への刑事弾圧 労働組合つぶしを許さない

小西 純一郎

― 支援拡大へ 兵庫集会を計画―

山本太郎 れいわ 参院選

滝野 忠

読者からのおたより

No. 1300 (二〇一九年十一月十五日号)

◇巻頭言◇ 階級的労働運動の再構築

滝野 忠

― 連合路線の誤りはどこか―

実践と理論結びつけた10年間

― 国労上野反合研合宿におじゃましました―

資本金階級に子ども手当は必要か

蓑輪 泰臣

― 混迷の度を深める「普遍主義」(一)―

佐々木一雄

読者からのおたより

No. 1301 (二〇一九年十二月一日号)

◇巻頭言◇ 学習会をつくらうよ

蓑輪 泰臣

― ぼくたちの学習会『共産党宣言』―

福島原発の汚染水と小泉環境相

原 野人

労使協調、そして新しい産業報国会へ

滝野 忠

― 連合方針について―

混迷の度を深める「普遍主義」(二)

佐々木一雄

憲法第二十五条と資本家の基本的人権

日弁連は「普遍主義者」か?

読者からのおたより

No. 1302 (二〇一九年十二月十五日号)

◇巻頭言◇ 誤りから脱却しよう

混乱の度を深める「普遍主義」(二)

共産党・社民党は「普遍主義者」か？

平等幻想の再生産

党の具体的金銭給付政策の問題点

日本国憲法と「普遍主義」

―そぼくな私の疑問―

労働者の怒りみなぎる職場の実態

読者からのおたより

原野人

佐々木一雄

山下 俊幸

国労上野反合研